

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-53946 (P2000-53946A)  
 【公開日】平成 12 年 2 月 22 日 (2000.2.22)  
 【出願番号】特願 平 10-222005  
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 K 3/14  
 B 2 4 D 3/00  
 H 0 1 L 21/304

【F I】

C 0 9 K 3/14 5 5 0 C  
 B 2 4 D 3/00 3 3 0 C  
 H 0 1 L 21/304 6 2 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 15 日 (2005.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水及びカップリング剤で表面処理した砥粒を含むことを特徴とする研磨材組成物。

【請求項 2】

前記砥粒が、酸化アルミニウム、酸化セリウム、酸化チタン、酸化ジルコニウム、酸化クロム、酸化鉄、酸化錫、酸化亜鉛、スピネル、ムライト、ジルコン、複合金属酸化物、金属水酸化物、炭化ケイ素、炭化チタン、 $B_4C$ 、ダイヤモンド、窒化ケイ素、窒化チタン、 $cBN$  から選ばれる少なくとも 1 種以上の化合物を主成分とすることを特徴とする請求項 1 記載の研磨材組成物。

【請求項 3】

砥粒の平均粒子サイズが  $10\ \mu m$  以下である請求項 1 または 2 に記載の研磨材組成物。

【請求項 4】

前記カップリング剤が、シラン系カップリング剤、チタネート系カップリング剤、ジルコネート系カップリング剤、アルミニウム系カップリング剤、ホスフェート系カップリング剤から選ばれる少なくとも 1 種以上のカップリング剤であることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の研磨材組成物。

【請求項 5】

砥粒の一次結晶サイズが  $0.005 \sim 5\ \mu m$  である請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の研磨材組成物。

【請求項 6】

研磨材組成物中の砥粒濃度が  $0.01 \sim 30\ wt\%$  である請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の研磨材組成物。

【請求項 7】

砥粒に対し  $0.001\ wt\% \sim 5\ wt\%$  のカップリング剤で表面処理した砥粒を含む請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の研磨材組成物。

【請求項 8】

研磨材組成物が研磨促進作用をもつ物質を含む請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の研

磨材組成物。

【請求項 9】

研磨材組成物が、粘度調整剤、pH調整剤、緩衝剤、キレート剤、界面活性剤、有機酸及びその塩から選ばれる少なくとも１種以上を含む請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の研磨材組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の研磨材組成物を用いて研磨をする研磨方法。

【請求項 11】

研磨が、ガラス材料研磨、金属材料研磨、絶縁膜研磨、配線材料研磨、半導体基板材料研磨、磁気ディスク基板材料研磨、またはテクスチャリングである請求項 10 に記載の研磨方法。